

2024 年度事業報告

自 2024 年 7 月 1 日 至 2025 年 6 月 30 日

【真宗保育理念】 「本願に生き、ともに育ちあう保育」

【総合テーマ】 「ともに生き ともに育ちあう保育を実践しよう」

【基本認識】

当協会の事業は、全国 420 施設、約 4 万人の在園児とその保護者・関係者による保育現場で取り組まれてきた。それは、真宗大谷派の青少年教化事業の流れを受け継ぎ、協会関係者に限定したものではなく、あらゆる人々を対象としている。

社会が大きく変化する状況の中、今一度「真宗保育」を掲げる協会の公益性を課題に事業を展開した。

＜研修テーマ「つたえる」実践年度の延長＞

2021 年度の「第 19 回全国真宗保育研修大会」(期日: 2021 年 7 月 3 日(土)/会場: 難波別院 御堂会館)において確認された研修テーマ「つたえる」の実践年度 4 年目として諸事業に取り組んだ。

＜保育心理士会の一層拡充＞

大谷保育協会が目指す、保育、幼児教育の具体的な内容として「真宗保育、心理学習を基本とした保育者の専門性の向上」がある。

一人ひとりの発達に合わせて、細やかに、子どもたちや保護者に向き合い、心のケアまでをカバーできる保育の専門家「保育心理士」を養成するための講座を広く公開した。

なお「保育心理士資格取得講座」は、厚生労働省が定める「保育士等キャリアアップ研修」の「障害児保育」、「保護者支援・子育て支援」として実施した。

【重点施策】

(1) 『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開

① 『真宗保育カリキュラム』の普及・活用

研修事業や保育実践における『真宗保育カリキュラム』の活用が増えたことで、その状況をフォローする体制が必要になっている。各部門と連携をとりながら、さらに『真宗保育カリキュラム』の普及を図り諸課題に取り組んだ。

② 「真宗保育」保育者養成テキストの制作

真宗大谷派学校連合会と共同し、「真宗保育」保育者養成テキストの制作を進めた。テキストの正式名称は『ともにそだちあういのち—真宗保育の願い—』に決定した。

(2) 「つたえる」をテーマとした研修計画の実践

研修テーマ「つたえる」を諸研修に通底するテーマとし、各連区・支部においても同テーマでの研修会の開催を奨励した。

① 宗派の青少幼年教化事業との連携

公益性をもって取り組まれてきた協会の実践や知見をもって、宗派の青少幼年教化事業との連携をすすめた。

② 宗派の定期刊行物等での課題発信

青少幼年層や子育て世代が、現代社会において抱える課題は、ますます多様化し深刻なものも多い。まずは、宗派の定期刊行物などの機会を最大限に活用し公益社団法人として存在する協会としてより一層の課題発信に努めていく。

(3) 保育心理士の育成並びに活動支援の充実

① 保育心理士の育成

「心に寄り添う保育者」を目指して 2000 年度より始まった保育心理士資格認定事業は、これまでに 4,574 名の保育心理士を認定している。(2025 年 3 月 31 日現在)

「保育心理士」は特許庁によって名称使用の専有が許可され認知度も向上しており、開かれた資格として社会貢献の一端を担っている。資格には 5 年以上の現場経験を有する一種と養成校において学び、現場への橋渡しとなる二種がある。

2024 年度は、対面形式に開催する京都会場、e ラーニング (ライブ形式・オンライン形式) での資格取得講座を開催した。

また、e ラーニング (ライブ形式・オンライン形式) における修了式については、各エリアにおいて開催し、保育心理士エリアマネージャーと連携し、地方における保育心理士フォローアップ講座の開催を促した。

② 保育心理士養成校との連携

保育心理士 (二種) 養成課程を設置する学事施設と、真宗大谷派学校連合会の加盟校をはじめ、学事施設との連携を密にし、さらに保育心理分野について、情報共有や学術的な取り組みが深まるよう養成校との関係構築、土壌整備に取り組んだ。

【一種】 同朋大学大学院

【二種】九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、飯田短期大学
九州産業大学、大谷大学、仁愛女子短期大学

③保育心理士資格取得講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系構築の動きに際して、当資格の人員育成を推進するために、同講座を開催している都道府県での認定手続きを進め、全国的広がりをめざす。

【認定都道府県】

北海道、岐阜県、愛知県、京都府、兵庫県、福岡県、熊本県、鹿児島県、宮崎県

④保育心理士の活動の充実、および保育心理士各種手続きの IT 化

エリアにおける保育心理士の活動支援の充実のため、保育心理会公式 LINE サービスを導入する。導入後、保育士心理士エリアマネージャーと連携し、エリアにおけるフォローアップ講座の情報を保育心理士に届け、エリアにおける保育心理士の活動充実を目指す。

また、これまで保育心理士の各種手続きの IT 化を図り、事務手続きの効率化を図る。

I 幼児教育及び保育内容の充実向上に寄与する事業（公益目的事業）

I-1 幼児教育及び保育に関する調査研究事業

真宗保育は子どもたちだけではなく、保育者も成長させるものでなければならない。そのような保育となるために、真宗保育についての基礎的研究を行う。理念、実践方法などについての研究を引き続き行う。

また、この研究結果を頒布事業、研修、資格認定事業などに反映し、真宗保育の公共性・公開性をはかる。

（1）基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、乳幼児教育・保育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を引き続き開催した。
- ② 真宗大谷派学校連合会の加盟校（大谷大学・九州大谷短期大学・光華女子大学・同朋大学・大阪大谷大学・函館大谷短期大学・帯広大谷短期大学）の教員を交えて、『真宗保育カリキュラム Vol. 1～3』の学術的表現への展開を図る。具体的には、真宗保育の保育者養成テキストである『ともにそだちあういのち一真宗保育の願い一』の作成を進めた。
- ③ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を真宗保育研究所と協会各部門とが連携しながら考えていく。例えば、カリキュラムの携帯版（PDF化）についての検討、教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師派遣（研修部）などの連携推進を図った。

（2）臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施する。その土壤養成のため「保育心理研究会」を開催した。

・第17回保育心理研究会

期　　日：2025年2月2日（日）

会　　場：大谷大学

参　加　者：109名

■記念講演：木村　順　先生（療育塾ドリームタイム・作業療法士）

■分科会

◆テーマ

（1）こどもが育つ環境を考える

講師：木村　順氏

（2）こども同士の環境を考える

講師：渡邊　大介氏

（3）大人の人間関係の環境を考える

講師：目黒　達哉氏

② 保育相談及び育成指導

研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行った。

I 幼児教育及び保育内容の充実向上に寄与する事業（公益目的事業）

I-2 幼児教育及び保育に関する教材、書籍、研究誌の頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布に努めた。

また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催した。応募作品の一部で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行した。

保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布した。

（1）保育教材の頒布

① 各教材の頒布

教材・物品名	価格	仕入値	仕入数	頒布予定数
合掌人形 しんらんさま	650 円	550 円	-	200
うでわ念珠 青 子ども用	250 円	174 円	2,000	1000
うでわ念珠 青 大人用	250 円	184 円	1,000	1000
うでわ念珠 ピンク 子ども用	250 円	174 円		1000
うでわ念珠 ピンク 大人用	250 円	184 円	1,000	1000
白念珠	180 円	160 円	1,500	800
念珠袋	320 円	302 円	-	800
おつとめちょう	100 円	40 円	-	500
真宗保育のカリキュラム入門	530 円	240 円	-	30
八女ちょうちん	240 円	207 円	500	500
しんしゅうこどもかれんだー	270 円	238 円	5,000	5500
真宗保育の源流をたずねて	200 円	186 円	-	10
真宗保育カリキュラム vol. 1	1,500 円	1,827 円	-	100
真宗保育カリキュラム vol. 2	1,000 円	859 円	-	100
真宗保育カリキュラム vol. 3	1,000 円	575 円	-	100
こどものうた①「誕生」CD	500 円	388 円	-	10
こどものうた②「そだつ」CD	500 円	337 円	-	10
お誕生シール<慶讃記念教材>	110 円	81 円	-	1,000
サガエさんに聞いてみよう—真宗保育Q&A—	1,650 円	685 円	1,000	100

〈真宗保育ブックレットシリーズ〉

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	頒布予定数
10. 真宗と保育（一楽真）	280 円	105 円	-	100
11. いのちありがとう（真城義麿）	240 円	151 円	-	10
13. 真宗保育をデザインする（富岡量秀）	250 円	160 円	-	50
14. 唯我独尊の教え-誕生の意味-（吉元信暁）	240 円	175 円	-	50
15. 「する」から「ある」へ —養育論の試み—（芹沢俊介）	350 円	125 円	-	50

16. 真宗保育をデザインするⅡ —カリキュラム・マネジメントの視座— (富岡量秀)	300 円	165 円	-	50
17. サガエさんの「講義ノート」—真宗保育編— (佐賀枝夏文)	250 円	180 円	-	200
18. 南無阿弥陀仏の保育 (真城義麿)	350 円	230 円	-	200

(2) 新教材の発行

- ① 園児絵画展に応募された作品で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行した。
- ② 新刊書「サガエさんに聞いてみよう—真宗保育 Q&A—」発行した。

(3) 諸会議に関する事項

- ① 出版部会

期日：2024年7月22日（月）、2024年12月23日（月）
2025年4月24日（木）

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上に寄与する事業（公益目的事業）

Ⅱ-1 幼児教育及び保育関係者に対する研修会事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に臨めるよう研修内容をより深めていく。

各連区・支部において、協会の研修に通底する研修「つたえる」での研修開催を奨励した。

また、各支部での研修に向けて事例等を提示できるよう協議・検討を行った。

（1）研究会・研修会事業

① 第65回佛教保育大学講座 事前学習会

期日：2024年7月22日（月）

開催方法：オンライン（zoom開催）

参加者：佛教保育大学講座指導員

② 第65回佛教保育大学講座

（浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・真宗佛光寺派・真宗興正派・真宗高田派共催）

対象：2年目以上の保育者

期間：2024年8月1日（木）～4日（日）

会場：西本願寺、龍谷大学（大宮学舎）、京都タワーホテル

講師：五十嵐 雄道氏

（佐賀大学医学部講師・西九州大学社会福祉学科死生学講師

　　浄土真宗本願寺派佐賀県圓光寺住職）

参加人数：64名

③ 新任研修会

対象：1年目の保育者

期間：2024年10月24日（木）～26日（土）

会場：真宗本廟、しんらん交流館、大谷大学湖西キャンパス

講師：山田恵文氏（大谷大学非常勤講師・真宗保育研究所所員）

参加人数：6名

④ 主任・中堅保育者研修会（奉仕団）

対象：主任・中堅保育者（保育経験5年以上）

期間：2025年6月13日（金）～15日（日）

会場：真宗本廟・同朋会館

講師：佐賀枝夏文氏（大谷大学名誉教授）

参加人数：5名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑤ カリキュラム研修会

対象：設置者・園長・保育者

期間：2025年6月25日（水）～26日（木）

講 師：田村晃徳 氏（真宗保育研究所所長・田尻徳風保育園園長）
共 催：日豊支部
参加人数：24名
特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑥全国真宗保育研修大会

期 日：2025年5月10日（土）
会 場：聖徳幼児教育専門学校・東京プリンスホテル
内 容：
①クロストーク
講 師 水野真紀氏（俳優）×富岡量秀氏（大谷大学教授）
テーマ 「つたえあう心」
②記念講演
講 師 加藤繁美氏（山梨大学名誉教授）
講 題 「対話から生まれる新たな世界 -つたえる・つたわる・うまれる-」
③提 言
講 師 富岡量秀氏（大谷大学教授）×田村晃徳（真宗保育研究所長）
テーマ 「つたえる 真宗保育の視点と課題」
参 加 者：設置者・園長・保育士・保育に関心のある方
参加人数：295名
運 営：東日本連区（東京支部）

⑦ 協会主催研修のシラバスの整備

協会主催の研修（新任研修会、仏教保育大学講座、主任・中堅保育者研修会、保育心理士、カリキュラム研修会）のシラバスの作成を進め、保育者の経験年数に応じた研修の内容を充実させた。

⑧ 研修テーマ「つたえる」の実践の最終年度として諸事業に取り組む。

研修テーマ「つたえる」の実践の最終年度として、総括点検をし、次回の「全国真宗保育研修大会」に向けて、新しい研修テーマを検討した。

（2）諸会議に関する事項

① 研修部会

期日：2024年12月3日（火）、2025年2月4日（火）
2025年3月10日（月）、2025年4月23日（水）
2025年5月28日（水）

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上に寄与する事業（公益目的事業）

Ⅱ-2 幼児教育及び保育従事者に対する資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を開催した。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の6%ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、学びを通して、広く園全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に努めている。

2013年度から二種資格に有効期限を設けたことに伴い、一種資格への切り替えや会員未納者に対し、納付促進の取り組みを図った。

また「保育士等キャリアアップ研修」（「障害児保育」・「保護者支援・子育て支援」）の実施団体として、保育心理士資格取得講座を開催した。

（1）保育心理士資格取得講座・フォローアップ講座

【本部主催資格取得講座】

①京都会場 保育心理士取得講座

（京都府保育等キャリアアップ指定）

《第1～6日程・修了式》

期 間：2024年8月20日（火）から25日（日）

形 式：対面研修

会 場：しんらん交流館・真宗大谷派宗務所

② e ラーニング形式 保育心理士取得講座

（京都府保育等キャリアアップ指定）

今年度から、e ラーニング形式（ライブ形式・オンデマンド形式）の保育心理士取得講座を開催する。

より受講しやすい環境を整え、保育心理士養成の充実を図る。

《オンドマンド形式》

期 間：2024年9月～12月

《ライブ形式（zoom）》

【A日程（土曜日）】2024年9月7日、9月21日、11月23日

【B日程（日曜日）】2024年9月22日、9月29日、11月24日

《修了式日程》

【札幌会場】 2025年1月18日（土） 札幌別院（札幌市中央区）

【仙台会場】 2024年12月1日（日） エスポワールみやぎ青年会館

【岐阜会場】 2024年12月14日（土） 岐阜県福祉会館（岐阜市下奈良）

【福岡会場】 2024年12月14日（土） 南近代ビル（福岡市博多区）

【熊本会場】 2024年12月1日（日） 真宗大谷派九州教区熊本教務支所

【鹿児島会場】 2024年12月22日（日） 真宗大谷派九州教区鹿児島支所

【京都会場】 2025年1月26日（土） 真宗大谷派宗務所（京都市下京区）

③名古屋会場 保育心理士取得講座

2024年度保育心理士取得講座（名古屋会場）については、募集定員に満たなかつたため、開催を中止した。

開催を中止した講座

保育心理士資格取得講座（名古屋会場）

期　　日：4月19日（土）・20日（日）

　　5月24日（土）、25日（日）

　　6月21日（土）・22日（日）

会　　場：同朋大学

④保育心理士フォローアップ講座

オンデマンドプラットフォームを用いて、保育心理士資格取得講座のフォローアップ対象科目の講義映像を配信した。

（2）保育心理士フォローアップ講座

5年の期限がある保育心理士資格の更新のためにフォローアップ講座を開催

講座開催地域を広げるため、エリア、連区、支部が主催して行った。

（3）エリア、連区、支部研修会での資格取得講座の開催

保育心理士資格取得講座の全国展開のため、エリア、連区、支部より申請があつた場合には、申請を受理し、エリア、連区、支部が主催となって開催した。

（4）「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募った。

保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000円		
二種会員	3,000円		
賛助会員（個人・法人）	3,000円	設置者	保育心理概論の講義受講で入会可

（5）その他

① 認定に関する諸会議

【保育心理士認定委員会】

期　　日：2024年9月12日（木）

　　2025年2月28日（金）

会　　場：真宗大谷派宗務所

【保育心理士会集会】第17回保育心理研究会と併催

期　　日：2025年2月2日

会　　場：大谷大学

【保育心理士会幹事会】

期日：2024年8月8日（木）

　　2024年10月30日（水）

　　2025年1月21日（火）

【エリアマネージャー会議】

期　　日：2025年2月1日（土）

会　　場：真宗大谷派宗務所

② 保育心理士（二種）養成校との協議会

期　　日：2025年2月28日（金）

開催方法：オンライン会議（zoom）

III 幼児教育及び保育に関する一般社会への啓発啓蒙事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を荷う。当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供した。

（1）機関誌等の配布

① 月刊誌『真宗保育』を頒布する。

「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとした。

② 機関誌『ほいくしんり』（協会編、エイデル研究所発行）を頒布した。

（2）協会ウェブサイト ホームページの運営

分かりやすく、親しみのある情報発信につながるよう、コンテンツの見直し等検討を重ねた。

また、支部や加盟園で行っている活動報告を掲載するなど、協会全体で情報を共有できるよう連携を図った。

（3）園児絵画展

真宗保育に触れていただくことを願いとして、園児の絵画作品を公募し、すべての応募作品を御正忌報恩講の期間にあわせて展示した。

期 間：2024年11月15日（金）～11月28日（木）正午まで

会 場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下・しんらん交流館
京都駅公益地下ストリートギャラリー

対 象：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児

展 示 数：408点

（4）“こどものうた”事業

協会の研修テーマをもとに楽曲制作を行ってきた“こどものうた”事業は、総集編CDアルバム（2021年11月発行、全8曲収録）をもって完結。今後も保育現場のみならず、寺院における子ども会等に歌っていただけるよう引き続き広報した。

（5）広報・課題発信の拡充

『真宗保育』の発行、宗派の定期刊行物との連携など、さまざまな媒体を通しての広報を試行した。

（6）「子どもの森づくり運動」への参加

NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及協力団体として、自然保護、環境学習の意識高揚に努めた。（現在、加盟園8ヶ園が参加）

（7）諸会議に関する事項

① 広報部会

期日：2024年11月20日（水）、2025年4月18日（金）、2025年6月30日（月）

IV 共益事業 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

全国支部より参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を行う。

（1）「令和6年能登半島地震」「令和6年9月能登半島豪雨」に伴う対応について

①「令和6年能登半島地震」に伴う義援金について

2024年1月11日に「令和6年能登半島地震の対応に関する対策会議（以下、対策会議）」を設置し、加盟園に対し義援金の勧募を行い、集められた義援金については、対策会議において協議された配分案を元に、被災地域に所在する加盟園に見舞金を届けた。（計：34件）

②「令和6年9月能登半島豪雨」の対応について

「令和6年9月能登半島豪雨」によって被災された加盟園に対し、お見舞いを実施した。

（2）人材発掘のための取り組み

研修会等において協会の活動内容を周知し、協力を要請した。

（3）加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営する協会未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園の加盟増加に努めた。

（4）各種保育団体との連携

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努めた。

（5）「青少幼年センター」「しんらん交流館」事業との連携

宗派の青少幼年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努めた。

（6）会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月1回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載した。

（7）「加盟園就職支援ポスター」の発行について

幼稚園教諭、保育士、保育教諭を目指す養成校の学生に向け、加盟園就職支援ポスターの制作を継続することを確認した。

（8）その他事業

① 表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行った）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行った）

ウ. 感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園（各支部長経由）より報告を受け、感謝状を送付した。

エ. 祝電・弔電

加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ伝達した。

② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送付した。

③ 各園での記念式典への感謝状

園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送付した。

V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し組織運営の安定と活動を支える。

公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）を適時公開する等、当協会の活動を広く周知した。

（1）管理業務の遂行

販売管理システムを活用した物品販売作業、在庫管理を行った。

（2）協会ＩＣＴ環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開し、社会的責任を果たす。また、協会のＩＣＴインフラの維持運営、協会保有データの保全に関して、機密性を維持するとともに適時改善する。

今年度は、社会的状況を受け、オンラインによる会議、研修、広報等、さまざまな可能性を各部門連携のもと試行していく。

（3）採用情報の提供

幼稚園教諭、保育士、保育教諭等の人材確保に資するため、就職活動中の関係学校生対象に、協会加盟園への採用情報をポスター類やホームページを用いて提供する。特に大谷大学との連携を深めながら取り組む事業に向けて協議を行った。

（4）協会をＰＲするパンフレット等の作成

当協会の活動を広くＰＲするため、パンフレット等の作成を検討した。

（5）加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き、入会手続きの機会を活用し正確な加盟園情報の収集、管理を行う。定期的な加盟園名簿の改訂を行った。

（6）常務理事会に関する事項

期日：2024年10月2日（火）

2024年10月22日（火）

2025年2月13日（木）

（7）役員会等に関する事項

① 理事会に関する事項

ア. 第31回（事業報告・決算承認）

期　　日：2024年8月27日（火）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第13回定時総会

期　　日：2024年9月11日（水）／会場：真宗大谷派宗務所

ウ. 第32回（臨時理事会/正副理事長・常務理事改選）

期　　日：2024年9月11日（水）／会場：真宗大谷派宗務所

エ. 第33回（次年度予算・事業計画）

期　　日：2025年5月14日／会場：真宗大谷派宗務所

※いずれもＷＥＢ会議（ＺＯＯＭ使用）にて開催した。

②大谷保育協会運営に関する協議会

期日：2025年2月27日（木）

対象：理事
会場：真宗大谷派宗務所

（8）諸会議に関する事項

① 正副部所長会

期日：2025年4月16日（水）
年間活動計画の策定と活動状況の報告を行った。

② 総務部会・組織部会

期日：2024年10月9日（水）
2024年12月26日（木）
2025年2月7日（金）